

令和3年度 事業報告書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

令和4年5月25日

学校法人 興國学園
興國高等学校

(1) コース概略とカリキュラム（教育課程）について 平成 25 年度～

①平成 25 年度

普通科アドバンスコースのスーパーアドバンスクラスを難関国公立大学並びに医歯薬系コースとして内部で独立させ、アドバンスコースは2クラスでの運営となりました。

②平成 26 年度

新入生募集人数の増員（410名から460名）

③平成 27 年度

普通科スタンダードコースを進学スタンダードコースに名称変更し、指定校推薦を中心とした大学進学を考慮して、基礎学力を徹底して鍛えるカリキュラムを実行しました。これに伴い、各コースも生徒たちのよりよい学習環境づくりに邁進しました。

④平成 28 年度

新入生募集人数の増員（460名から505名）

スーパーアドバンスクラスとITビジネス科で募集人数を増員しました。

⑤平成 29 年度

・新入生募集人数の変更 計 500 名

スーパーアドバンスクラス (SAD) 40 名 / アドバンスコース (AD) 40 名

アスリートアドバンスコース (AA) 120 名 / キャリアトライコース (CT) 40 名

進学アカデミアコース (AC) 140 名 / IT ビジネス科 (IT) 120 名

・新アリーナの完成とグラウンドの整備の完了により、本校の設備更新が一段落しました。

・進学アカデミアコース開設

従来の進学スタンダードコースを廃止し、『進学アカデミアコース』を新設致しました。その概要は、学習到達度や特別活動、進路の目標設定などで3タイプを選択でき、1年次より自分にあった学習スタイルや課外活動に取り組めるようになっています。

⑥平成 30 年度

・新入生募集人数の変更 計 590 名

SAD 70 名 / AD 40 名 / AA 160 名 / CT 40 名 / AC 160 名 / IT 120 名 と、募集人数を大幅に増員致しました。

⑦令和 4 年度

・コース改編による各コース募集人数の変更

SAD 70 名 / PAD I ・ PAD II 80 名 / AA 140 名 / AC 140 名 / CT 40 名 / IT 120 名

・SAD と同様に、8 時間授業と豊富な補習等を展開し難関大学を目指す PAD I と、SAD の授業を 6 時間に凝縮し、クラブ活動にも参加できる PAD II を新設しました。

(2) 教育内容充実のための教育計画の推進

- ① コロナ禍において教育活動が制限される中でも、1 学期には授業見学、2 学期には研究授業を実施しました。全教員が自教科・他教科の授業を見学し、各教科会議において授業における問題点を考察し討議を重ねた上で、資料として報告書を作成・提出いたしました。さらに、1 学期末には「先生たちの通信簿」を実施し、生徒からの授業評価をうけて問題・改善点を各教員が把握し、報告書を提出することで2 学期以降の授業内容の改善に取り組みました。

また、放課後活動の充実のため、「KOKOKU 寺子屋」にて生徒のニーズに対応した様々な講座を展開しました。令和3年度は5つの道場、計21講座を開講しています。《がつつり学びや道場》では、Benesseの実力テストで自身の学力ゾーンを知り、実力に合わせた大学進学に向けた講座を充実させました。具体的には、「大学入試プレミアム講座」および、国語・数学・英語の学力向上のために1年生には「大学入試スタートUP&検定対策講座」、2・3年生には「大学入試ブラッシュUP講座&模試対策」を設けています。

さらに《グローバルコミュニケーション道場》には、ネイティブ教員によるアクティブラーニングによって英語力が身に付く講座「Mr.Danのイングリッシュ・カフェ」を開講しています。また、充実した設備のアリーナ、トレーニングジム、およびグラウンドをフルに活用し、《パーソナル・トレーニング道場》として、「KOKOKU流マッスル・ファクトリー」および、「エンジョイ・フットサル」を開講し、運動部に所属していない生徒にも放課後の体力づくりに取り組める環境を整えています。

また、地域の方々と交流を深めるため、例年通り、「KOKOKU 寺子屋～カルチャー教室～」(通称“ご近所寺子屋”)を「パソコン教室」「書道教室」、そして、Mr.ミランダの「英語でクッキング」の3講座を開く予定でありましたが、感染症予防の面に照らし合わせて中止としました。

- ② 生徒の望ましい進路選択と、志望の実現を目指し次のような施策・対策を講じました。新2年生のクラス分けに伴い、年度当初の4月に「2年生保護者対象のオリエンテーション」を実施しました。全体会では、進路については近畿大学より屋木先生を招聘して、進路講話と研修旅行の概要を説明しました。引き続き、コース別ガイダンス、クラス懇談という流れで保護者の方々に今必要な心構えや今後の流れを説明し、理解を深めて頂きました。3学年対象に、自分の進路を発見する手立てとして「大学別ガイダンス」を主要10数大学で実施し、大学の入試部の関係者を招聘して、大学で学ぶことの基本的な知識と指導をして頂きました。2学年より就職希望生徒に向けて、面接試験や学科試験の対策講座である『キャリアガイダンス』を実施しています。この講座は、就職試験本番まで定期的に関講し、個別面談や対策授業・テストなどを実施して、就職内定100%達成となるように取り組んでいます。全コースとも年間を通じて、授業終了後の補習や「夏期・冬期・春期」休暇中に集中講座を実施しました。昨年度はコロナ禍で勉強合宿は実施できませんでしたが、本年度は各コースにおいて休暇中に勉強合宿を実施し、また校内での集中講座を実施し、大いに効果が上がりました。

- ③ スーパーアドバンスクラスの運営について、近年、理系科目を重視したカリキュラムにより、国公立大学や難関私立大学への合格者が大幅に増加し、その中でも京都大学や大阪大学、神戸大学といった難関校に複数の合格者を輩出できました。8時間授業をベースに、その後の補習、休暇中の特別授業など綿密で重厚なカリキュラムで成績の向上を図りました。また、国公立大学をはじめとする各種受験方式を徹底して研究し、生徒の希望進路を実現しました。

結果、京都大学に1名、大阪大学へ3名、神戸大学へ3名など、多数の国公立大学への合格すること

ができました。また、医学部医学科においては国公立大で和歌山県立医科大学、弘前大学、鳥取大学に計3名が合格。私立大学で大阪医科薬科大学、関西医科大学、愛知医科大学、藤田医科大学へ計5名が合格いたしました。

④ アスリートアドバンスコース（AAコース）の取り組みについては、コロナ禍において活動が制限された中にあり、2年ぶりに広島県のしまなみ海道での「AAトライアスロン」を実施いたしました。アスリートの実績は目覚ましく、今年度も5名のJリーガーが誕生いたしました。（川崎フロンターレ1名、セレッソ大阪1名、モンテディオ山形2名、福島ユナイテッドFC1名）アドバンスコースと連携した大学進学指導により、スポーツ推薦だけでなく、公募・一般入試でも京都大学2名をはじめ、国公立、上位私大に合格しました。特筆すべきは今年度2名のAA生徒が現役で京都大学に合格し、文武両道を実現してくれたことです。AAコースは大変人気が高く、6クラス編成で理系、さらに文系を習熟度に分けて運営しています。また、アスリートプログラムに特化させたGroeien(グロイェン)クラスを設置し、アスリートの資質を高めています。

⑤ 進学アカデミアコース（ACコース）では、基礎学力向上のため、英単語テストの朝の学習を全学年あげて取り組み、自律学習と学習意欲の伸長を進めました。この取り組みは、全学年とコースで継続実施されており、進路決定への大きな力の一翼を担う取り組みとして発展させております。特筆すべき結果として、滋賀大学、周南公立大学の国公立大学にごく各社を2名輩出いたしました。

当コースでは、刷新されたカリキュラムにより「リーダーシップ（責任感）」「フレンドシップ（協調性）」「パートナーシップ（社会性・モラル・マナー）」の学びを中心として、ICT教育の一環として導入された“Classi”を、家庭学習の実践や学校と家庭との通信（緊急時含む）などに活用しています。また、生徒全員にipadを所持しているため、コロナ禍での動画配信授業も円滑に行うことができました。

令和4年度に進学アカデミアコースは「アカデミアコース」に改称、さらに多様性に富んだプログラムが実現できるようになります。

⑥ キャリアトライ（公務員）コース（CTコース）の自衛隊体験入隊については、今年度もコロナ禍にあって実施が危ぶまれましたが、前年度に引き続き、大阪地本、海上自衛隊舞鶴教育隊のご尽力により、自衛隊体験入隊を実施することができました。

海上自衛隊舞鶴基地を訪問し、2泊3日の行程で基本教練や海上自衛隊第一体操、防水訓練、カッター訓練など各種の体験をして参りました。また最終日には、本土防衛の要である護衛艦に乗船し、艦艇を見学する事が出来ました。決して他では体験できないような様々な経験を積んで、公務員という仕事の重責を感じ取ることが出来た有意義な体験入隊でした。

⑦ ITビジネス科（ITB科）での進路実績は、「ITアドバンスコース（ITAコース）」においては、上位大学への合格者を多数輩出するレベルとなっており、令和3年度卒業生は、滋賀大学をはじめとして、約8割の生徒が4年制大学への進学を果たしています。これを継続発展させるため平日の通常授業を7時間授業とし、長期休暇中の講習では90分間の授業を展開することで、大学受験対策だけではなく、資格取得の対策も万全にしています。一方、「ゲーム&デジタルワークスコース（ITGコース）」でも4年制大学への進学が増加し、ITアドバンスコース同様に補習等が実施されています。また、このコースでは「情報系学部」へのニーズが高まっており、その実現のため「ゲーム制作」に関する本格的なプログラミングなどを学ぶという目標の下、2年生の選択授業で大阪電気通信大学と

の高大連携授業を実施しています。ここでは本格的なプログラミングおよびアート制作を学んでおり、その成果に期待を寄せています。また、今年度は両コースともに夏期と冬期に勉強合宿を行い学力の向上を図りました。

(3) 生徒指導の充実と、多様な対応

- ①「生活指導の手引き」における内規を見直しました。
- ②携帯電話の校内使用全面禁止を継続し、マナーを遵守させる指導を徹底しました。
- ③遅刻した生徒には、放課後に学習課題を取り組ませ、遅刻を繰り返さないよう指導を行いました。
- ④モラルやマナー育成の為、教職員と各クラスから選出した生徒と協力して、周辺地域の清掃活動「クリーン大作戦」を実施いたしました。
- ⑤インターンシップの取組みについて

3月には昨年同様アートコーポレーション様にご協力を賜り、有償インターンシップを実施することができました。その為、希望生徒対象にアートコーポレーション様より、プロとしての心構えと作業の基本的な指導を講義と実践により、事前にレクチャーしていただいております。これらの取組みにより、就職活動を本格化させる2学年の生徒達の就労意欲を高めることができました。

⑥人権カウンセリングより

不登校や集団生活に馴染みにくいなどの悩みを持つ生徒に対して、別室（カウンセリングルーム）にスクールコンシェルジュ（校長経験者）を複数名配置し、休暇中における集中指導などの対象生徒の個別指導だけではなく、保護者が相談できる組織を校内に設置しています。また、学校外においても、ものづくり体験や協働学習を通して、進級・卒業への契機となるプロジェクトを準備しています。

(4) 授業改善への取組み

- ①授業改善のため、全教科担当者に対する生徒からのアンケート（「先生たちの通信簿」）を1学期末に実施し、自己点検すると同時に、教科としての改善すべき取組みを明確にしました。
- ②授業の質を高めるために、習熟度別授業やチーム・ティーチング（複数担任授業）を充実させました。
（例）国語・数学・英語・簿記会計・体育の武道（柔道・剣道）・情報・書道 等
- ③2学期に研究授業を実施し、各教科における授業のあり方を追求したほか、1学期には公開授業週間を設け、教員のレポートを通して反省点や改善点を明確にしました（教科内・教科外の授業も見学・検討することとしました）。
- ④充実した授業を展開するために、全教員で授業中の校内巡回を分担し、年間を通して実施しました。
- ⑤各教科で現在のカリキュラムやシラバスを検討して問題点や改善点を抽出し、よりよい授業、分かりやすい授業が展開できるように取り組みました。

(5) 国際理解教育の推進

①夏期休暇期間中の短期海外研修について（7月実施）

本校では、毎年7月にイギリス・カナダ2カ国への研修を展開しています。今年度はコロナ禍により中止となりましたが、授業・寺子屋等でフィリピンとのオンラインスピーキング「weblio（ウェブリオ）」を利用し、語学力とともに国際感覚の向上につとめました。

- ②例年実施している海外研修旅行もコロナの影響で行先・時期の変更を余儀なくされました。結果、昨年と同様に、3月に沖縄への研修旅行を無事に成功させることができました。

(6) 施設面の充実

- ①新西館改築工事（平成 27 年 12 月竣工済 翌年 1 月供用開始）
- ②北館（体育館）解体工事に着手・完了（平成 28 年 3 月より）
- ③クラブ棟（東側）解体工事（平成 29 年 1～2 月）
- ④新アリーナ（体育館）竣工（平成 29 年 6 月）
- ⑤南館 1 階改装工事に着手（平成 29 年 12 月）

*サイエンス・ラボ（理科実験室）
*クッキングスタジオ（調理実習室）
*特別教室

} 以上の 3 教室を新設いたしました。

☆新アリーナの完成とグラウンドの整備工事が完工し、各種行事を催行しました。

1. 平成 29 年 6 月 1 日 グラウンド修祓式（本校グラウンド）
2. " 6 月 7 日 90 周年記念式典・アリーナ竣工式（本校アリーナ）
3. " 6 月 22 日 台湾東海大学講演会（陳 中漢教授）
4. " 6 月 24 日 アリーナ落成記念「バレーボール落成記念試合」
(V リーグ：堺ブレイザーズ VS パナソニックパンサーズ)
5. " 6 月 26 日 「天遊」大阪市小学校連合会主催講演会（講演者：草島葉子校長）
6. " 7 月 15 日 90 周年記念講演会『得意に帆を揚げて』（講演者：数学者 秋山 仁氏）
7. " 8 月 6 日 高体連サッカー大阪大会“開会式”（参加 251 校 男女共約 1500 名）
8. " 8 月 28 日 中体連サッカー総会・抽選会（中学校顧問 約 450 名出席）
9. " 9 月 9 日 大阪エヴェッサドリームクリニック
10. " 10 月 14 日 柔道実技講習会（新柔道場柿落とし）
11. " 10 月 23 日 AA コーストップアスリート講話（ラグビー元日本代表 野澤武史氏）
12. " 10 月 28 日 大阪南ロータリークラブ主催「福祉チャリティーコンサート」
13. " 11 月 26 日 天王寺バレーボール連盟主催「秋季大会」（9 人制 18 チーム）
14. " 12 月 1 日 天王寺区役所主催「区内 3 中学校合同サッカー講習会」
(セレッソ大阪コーチによる実技指導)
15. " 12 月 17 日 天王寺区吹奏楽フェスタ（区内の中学校・高校の吹奏楽部が出演）
16. 平成 30 年 2 月 28 日 進路ガイダンス（2 年）〔講師：近畿大学入試広報課長 屋木清孝氏〕
- 17・令和 元年 5 月 8 日 「令和の集い」（改元に伴い、平成の時代を振り返り、令和の時代に向けての決意を新たにしました）
18. " 5 月 20 日 「NASA 特別講演会実施」（講演者：ジョン・A・マクブライド氏、対象：第 1 学年全生徒（766 人）・第 2、3 学年 SAD、AD、AAA、ITA（364 人）・天王寺中学校生徒（約 150 人））
19. " 11 月 15 日 「第 66 回近畿算数・数学教育研究大阪大会（全大会）」

※その他、学校説明会、始業式・終業式並びに ONLY ONE 祈念日、卒業式等の式典で、アリーナを活用しております。

(7) 入学生徒数の安定的確保の取組み

令和 4 年度の入試は定員（590 名）を大幅に上回る 1514 名が志願し、939 名の入学者を受け入れました。また、下記のような入試広報に関わる活動を実践しました。

- ① 全教職員で大阪府下を中心に、約500校の中学校を年2回（夏・冬）訪問し、本校の独自の取組みと、入試における特徴的な要項の周知に努めました。
- ② 7月に中学校の教員対象の学校説明会を開催し、各コースの内容とその学びの特色やカリキュラムを中心に、より一層の理解を深める工夫を凝らしました。また、魅力あるクラブ活動を紹介するため、成果を生み出しているクラブ指導者と活躍するクラブ生を紹介し、生徒の募集のための方策を打ち出しております。
- ③ 9月に学習塾対象の学校説明会を開催しました。併せて全教職員で学習塾を訪問し、地域別にきめ細やかな訪問が出来るように取組みました。
- ④ 中学生と保護者対象の学校説明会及び個別相談会、オープンスクールを計8回開催し、クラブ体験の機会ももちながら、専願者の確保に努めました。
夏季休暇中の KOKOKU 夏祭、11月に KOKOKU 体験フェスティバルを実施し、本校の生徒たちとの関わりの中で、本校の魅力を伝えてまいりました。これに加えて保護者や中学生からの進路相談に応える場として、「個別面談会」を計3回実施しました。
- ⑤ 「出前講座」と銘打って、本校の教員とサポート生徒が中学校へ出向き、パソコン・公務員講座・スポーツ関連等の体験授業や、学校長と渉外部長が「進路講話」「面接講座」を中学校の「総合的な学習」の時間等を利用し、進路保障の一環として繰り広げました。そして、本校に中学生が来校して、高校生活を実体験する高校体験留学も定着しております。以上の活動により、本校の教育設備や内容の充実度が体験することによって、受験者数や入学生の確保に貢献しています。
- ⑥ その他、渉外関連のアイテム（学校案内パンフレット・学園だより・学校紹介ビデオ等）にも工夫を凝らして、さらに充実させ、生徒や保護者が共感できるように努めました。

(8) クラブ活動・生徒会活動の活性化

- ① 硬式野球部が49年ぶりに選手権大会大阪府予選にて決勝に進出する快挙を成し遂げました。
また、全国大会に多くの運動クラブ（ボクシング・ゴルフ・ソフトボール・自転車競技・レスリングの各部）が出場権を獲得しました。多くのクラブも選手強化のために学校が全面的にバックアップをしており、今後も大いに活躍が期待されるところです。また海外からスポーツ留学生制度を設定し、選手獲得もグローバル化しております。現在、台湾（硬式野球）、ケニア（陸上）、フィジー・ニュージーランド（ラグビー）、ハイチ（硬式テニス）からの留学生が日本語や文化を学びながらトップアスリートとして練習に励んでいます。
また、堺ブレイザーズとの連携も継続し、2020年度からはバレーボール部の顧問として、指導者を派遣いただいております。現在は1部リーグに属しており、春高バレー大阪府大会上位に進出するなど着実に実力をつけています。

(9) 進路保障の多様性とその充実

- ① 各コースの特徴を生かした進路保障を、各分野で昨年度の実績を上回る形で下記の通り果たしました。
※特に大学進学では、和歌山県立医科大、弘前大、鳥取大などの国公立や大阪医科大、関西医科大医学部医学科など私立の医学部医学科へ複数合格者を輩出することが出来ました。

(%は、全卒業生数比率)

項目	令和3年度	令和2年度	令和元年度
四年制大学	468名 (64.4%)	409名 (63.2%)	493名 (58.9%)
短期大学	10名 (1.4%)	5名 (0.8%)	12名 (1.4%)
専門学校	96名 (13.2%)	86名 (13.3%)	132名 (15.8%)
就 職	90名 (12.4%)	91名 (14.1%)	142名 (17.0%)
浪人未定・その他	63名 (8.7%)	44名 (6.8%)	58名 (6.9%)

※浪人未定の63名の大半が、志望大学への進学希望のため。

・【各分野における進路先の具体例】(令和3年度結果)

＊四年制大学

国公立大学 (京都大学・大阪大学・神戸大学・和歌山県立医科大学・防衛医科大学校・防衛大学校
 ・大阪教育大学・大阪公立大学・滋賀大学・和歌山大学・秋田大学・奈良教育大学
 ・宮崎大学・広島大学・弘前大学・鳥取大学・北海道大学・島根大学・徳島大学
 ・愛媛大学・高知大学・滋賀県立大学・兵庫県立大学 他多数合格)

私立大学 (関西医科大学・大阪医科薬科大学・愛知医科大学・藤田医科大学・同志社大学
 ・立命館大学・関西学院大学・関西大学・東京理科大学・中央大学・法政大学
 ・学習院大学・近畿大学・龍谷大学・京都産業大学・甲南大学・日本大学・東洋大学
 ・駒澤大学・関西外国語大学・佛教大学・摂南大学・桃山学院大学・追手門学院大学
 ・神戸学院大学・大阪経済大学・大阪工業大学・大阪商業大学 他多数合格)

＊短期大学 (関西外国語大学短期大学部・近畿大学短期大学部・大阪成蹊短期大学 他)

＊専門学校 (大阪法律・大阪あべの辻調理師・国際東洋医療柔整学院・大原簿記法律・修成建設 他)

＊就 職 (日本郵便(株)・阪神電気鉄道(株)・アート引越センター(株)・きんでん(株)・ダイハツ工業(株)
 ・トヨタカローラ南海(株)・(株)浪花組・(株)コノミヤ・(株)蓬萊 他)

＊公 務 員 [国家公務員]: 国家一般職・刑務官
 [地方公務員]: 大阪府警・兵庫県警・京都府警・奈良県警・大阪市消防局
 [特別職国家公務員]: 陸上自衛隊一般曹候補生・陸上自衛隊自衛官候補生
 海上自衛隊一般曹候補生・海上自衛隊自衛官候補生

②本年度もAコースから、プロサッカー選手 5名を輩出いたしました。

川崎フロンターレに1名、モンテディオ山形に2名、福島ユナイテッドFCに1名セレッソ大阪に1名がプロ選手として活動します。12月下旬に大々的にアリーナにて入団内定記者会見を行いました。今後のJリーグでの活躍を大いに期待しております。

(10) 学校評価について

毎年、全職員から提出された自己評価、並びに次年度の目標設定を記載したシートを基に管理職との個別面談を全員に実行しています。この面談を通じて、職務に対する姿勢や方向性を互いに認識し合い、資質向上と学校運営の発展に努めています。下記の表は、今年度提出された個々のシートを整理・集約したものです。

＜令和3年度 資質向上自己申告票のまとめ＞

[単位：人]

No.	項目	評価S	評価A	評価B	評価C	評価D	その他	小計
①	校務分掌	1	17	44	21	5	0	88
②	担任業務	2	14	22	19	3	0	88
	副担任業務	0	3	11	5	0	9	
③	教科指導	4	19	42	16	0	7	88
④	クラブ活動	3	17	24	27	10	7	88
小計		10	70	143	88	18	23	352
評価分布状況 (%)		2.8	19.9	40.6	25.0	5.1	6.5	100%
(最上段/R3年度数値)		3.6	18.6	41	27	5.6	4.2	
(上段/R2年度数値)		3.8	16.6	40.8	29.6	5.4	3.8	
(中段/R1年度数値)		4.1	14.0	31.6	40.1	6.9	3.3	
(下段/H30年度数値)								

《表の見方》

(イ) 項目の①～④は本校の業務分類です。

(ロ) 評価S～Dは、次のように5段階評価で分類します。

- ・**評価S**：大幅に目標を上回っている。
- ・**評価A**：少し目標を上回っている。
- ・**評価B**：目標通り。
- ・**評価C**：少し目標を下回っている。
- ・**評価D**：大幅に目標を下回っている。
- ・**その他**：該当の業務分担がない教員の人数。

(ハ) 調査対象者は、専任教諭 59名、常勤講師 29名 の計 88名です。

(二) 今後の改善点

①教職員の資質向上に向けて

- ・教科間ないし教科外の教員が互いに授業見学を取り入れ、授業の質の向上に役立っています。
- ・新しい取組みのための研鑽や資格取得等の講習へ積極的に参加しております。
- ・教育の実践に活かすために専門分野の方の講演会を定期的実施しています。
- ・この他、新任教員の研修にも努めています。

②生徒指導・学習指導・進路指導について

- ・通学路や交通機関利用時、並びに自転車通学を含めての登下校時のマナーを徹底します。
- ・クラブ活動や興國寺子屋への参加率向上を目指します。
- ・高大連携では、相互に授業の連携を図り、大学進学時に単位認定を考慮する取組みを進めます。
- ・大学入試や社会の要請に応える力をさらに育成するため、漢検・英検受検の充実を図ります。
- ・全コースで学力向上を目指し、強合宿実施を進めていきます。

(11) その他

① キャリアトライ（幼児保育初等中等教育）コースでは例年、四天王寺夕陽丘保育園のご好意により行事日程に合わせて実習の機会を提供頂いていましたが、今年度もコロナの為、保育現場での実習は行えませんでした。

② 文化祭は、例年、保護者や近隣住民も大勢参加され、クラス展示や模擬店、アリーナでの催しなどが実施されますが、今年度もコロナ対策として縮小を余儀なくされました。しかし、生徒会指導部を中心として工夫を凝らしたイベントが実施されました。

学年企画において、1 学年は東京オリンピック金メダリストのウルフ・アロン選手、2 学年は手相芸人の島田秀平氏、3 学年はアーティストの日食なつこ氏を招き、それぞれ趣向を凝らし、大いに盛り上がりました。

また、チャリティー企画として献血を実施しました。

③ 恒例の「クラブ年初始動式」を生徒会指導部主催で1月に実施しました。クラブの活躍と発展を祈念して、全運動クラブ部員とPTA役員、教職員が久保神社に参拝後、アリーナにて各クラブの代表者から力強い決意表明を発表しました。例年、餅つきを実施していますが、コロナ対策として今年度はレトルトのぜんざいと、お年賀としてナップサックを配布しました。

④ 生徒の健康や安全教育の一環として、1年生の4月以降、体育の授業において救急救命講習を開き、心肺蘇生法（CPR）やAEDの使用方法について、技術の習得を図るとともに、緊急時の対応ができる教育を実施しております。

また、アスリートアドバンスコースでは、2・3年生全員に春と秋の2回救急救命講習を受講させて、命の尊さを体現させています。

⑤ 高大連携について

コロナ禍の中にあって、各大学に生徒が定期的に通学し、講義を受けるということは困難となりました。大阪商業大学、大阪電気通信大学とは高大連携講座で単位を認めていただいておりますが、今年度はコロナ禍の為、実施できませんでした。また、関西大学からはインターンシップ生の受け入れを行い、連携を深めました。

今後の進路指導として、国公立大学も含めた各大学との高大連携を進展させます。大阪商業大学をはじめ、多数の大学と連携を図ることで、単位認定や医療系、理工系の大学とも交流を深めるとともに、大学からの出前講義やガイダンスを通じて、自分の進むべき進路を一人ひとりがしっかりと考え、その目標を達成できる道筋をつけることを目標とします。そして、将来は様々な分野で我が国を支え、牽引できる人材の育成に努めて参りたいと考えます。